



ステンレス製品(フェライト系・マルテンサイト系)  
Stainless Steel (Ferritic・Martensitic)



算定単位

1t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階 (原材料調達、原材料の輸送、製品の製造)

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト:山口製鉄所、東日本製鉄所

主な規格: JIS (日本産業規格)、ASTM、ASME

日本製鉄規格 ※詳細は⑧備考に記載

形状: 鋼帯、鋼板、線材、棒鋼

主な板厚 (単位mm、t = 板厚) t = 0.1~9.0

主な直径 (単位mm、φ = 直径) φ = 5.5~60

問い合わせ先

日本製鉄株式会社 ステンレス技術部  
ステンレス管理室

<https://www.nipponsteel.com/>

登録番号	JR-BO-24001E-C
適用PCR番号	PA-187000-BO-03
PCR名	ステンレス製品 (中間財)【第3版】
公開日	2024年11月25日
検証合格日	2024年10月11日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-BO-24001
検証有効期間	2029年10月10日

PCRレビューの実施

認定日等	2023年2月4日
委員長	山岸 健 一般社団法人サステナブル経営推進機構

第三者検証者\*

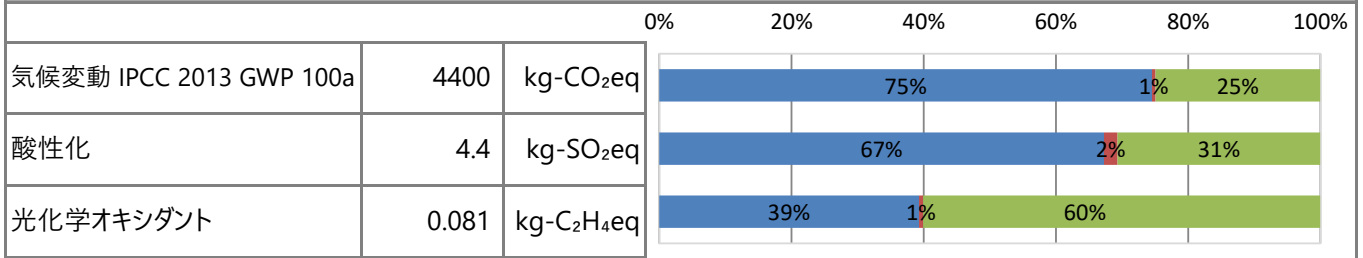
外部検証員 牧野 直樹

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部 外部

\*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

### ①ライフサイクル影響評価結果



スコープ3やカーボンフットプリントの算定に関しては「⑥-1.その他の環境関連情報」を必ず参照のこと。

内訳	項目	単位	合計	[A1] 原材料調達	[A2] 原材料の輸送	[A3] 製品の製造
	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO <sub>2</sub> eq	4.4E+03	3.3E+03	2.3E+01	1.1E+03
	オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.6E-04	1.6E-04	1.9E-10	1.9E-06
	酸性化	kg-SO <sub>2</sub> eq	4.4E+00	3.0E+00	9.2E-02	1.4E+00
	光化学オキシダント	kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq	8.1E-02	3.2E-02	5.3E-04	4.9E-02
	富栄養化	kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq	2.9E-01	8.5E-05	1.6E-13	2.8E-01

### ②ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	値	単位
非再生可能資源	3.2E+02	kg
非再生可能エネルギー	5.9E+04	MJ
再生可能資源	6.5E+02	kg
再生可能エネルギー	1.4E+03	MJ
淡水の消費	1.2E+01	m <sup>3</sup>

### ④廃棄物関連情報

項目	値	単位
有害廃棄物	0.0E+00	kg
無害廃棄物	4.1E+01	kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

### ③材料及び物質に関する構成成分

材料・物質 (使用部分)	値	単位
炭素 [C]	≒ 0.4	%
ケイ素 [Si]	≒ 3.0	%
マンガン [Mn]	≒ 2.0	%
リン [P]	≒ 0.15	%
硫黄 [S]	≒ 0.4	%
ニッケル [Ni]	≒ 2.5	%
クロム [Cr]	≒ 31	%
モリブデン [Mo]	≒ 4.0	%
銅 [Cu]	≒ 2.0	%
ニオブ [Nb]	≒ 1.0	%
チタン [Ti]	≒ 1.0	%
アルミニウム [Al]	≒ 6.0	%
スズ [Sn]	≒ 1.0	%
窒素 [N]	≒ 0.12	%
鉄 [Fe]	≒ 65	%

#### ⑤算定結果に関する追加情報

- 1)原料の輸送シナリオはPCRに従った。工場間輸送は海上輸送距離を地図ソフトで計測して用いた。
- 2)本シート上、③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は対象となる鋼材規格規定の各上限値のうち、最大のものを示す。鉄の成分は、他の構成成分の比率で調整される。
- 3)一次データは、2022年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。
- 4)算定結果は、薄板、棒線の加重平均値である。
- 5)社外製鋼(溶解)材による製品は含んでいない。

#### ⑥-1.その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で製造している。

[気候変動 IPCC2013 GWP100a]に関する注意：

本製品の購入者が、その組織のスコプ3 カテゴリー1のGHG排出量を算定する場合や、本製品を用いて製造する製品のカーボンフットプリントを算定する場合には、以下のURLを必ず確認すること。

<https://www.nipponsteel.com/product/cfp/certificate.html>

(上記URLの内容は、EPDの検証対象外)

#### ⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令
銅	7440-50-8	労働安全衛生法施行令
クロム	7440-47-3	労働安全衛生法施行令
ニッケル	7440-02-0	労働安全衛生法施行令

#### ⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。

#### ⑧備考

○JIS規格：JIS G 4303 (ステンレス鋼棒)、JIS G 4304 (熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)、JIS G 4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)、JIS G 4308 (ステンレス鋼線材)

○ASTM A240/A240M (Standard Specification for Chromium and Chromium-Nickel Stainless Steel Plate, Sheet, and Strip for Pressure Vessels and for General Applications)

○ASME BPVC. II .A SA-240/SA-240M (Standard Specification for Chromium and Chromium-Nickel Stainless Steel Plate, Sheet, and Strip for Pressure Vessels and for General Applications)

○日本製鉄規格：熱延ステンレス薄板編、冷延ステンレス薄板編、ステンレス鋼棒編、ステンレス鋼線材編

・2025年4月 社名変更に伴い製造サイト、主な規格を修正した。

・2025年11月 問い合わせ先、記載見直し。

・2026年4月1日「⑥-1.その他の環境関連情報」に補足説明を追記

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。

●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。

(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)